

夏期手当  
カット

# 取柄や差別扱い



7月13日、動力千葉は「ひのき丸尾入会林強奪阻止、県境越え実弾演習断固粉碎、北富士演習場撤去、北富士全国総決起集会に参加した。この日、忍草母の会、北富士入会組合の方々は、「戦機まさに到来。あすの北富士のために体を張れ。魂を爆発されろ。」と全国に激を飛ばした。また、「梨ヶ原は全人民のパラダイス」であることを宣言し、入会権を守るために特に「ひのき丸尾入会林キャンプ場を多くに利用して欲しい」ことを訴えた。われわれは、北富士農民のみなさんとの連帯を強化し、闘争勝利まで闘うことを改めて誓おうではないか!

北富士ひのき丸尾キャンプ場のご利用について  
 北富士忍草の闘う農民が体を張って闘い、入会権を守り、丹精込めて植林した赤松の森林の一角にキャンプ場を昨年に続き開設しました。自然に囲まれた閑静なキャンプ場は誰でも利用できます。この夏休みを利用し、自然としたしむには絶好の場所です。使用料は千円よりくわしくは、本部まで

六月三十日、夏季手当の支払について、千葉支社は又もや動力千葉組合員に対する差別としか言いようのない三三名への減額を強行した。夏季手当という労働条件の基本的問題であり、生活給である「手当」を五%もカットするという極めて不当なものである。

われわれは、当局の暴挙を断じて許さない。この攻撃こそ、日常の業務から、組合運動まで、当局が監視し、一方的に査定し、賃金を使つての団結破壊を策すという最も下劣な攻撃である。

しかも、カットされた当の本人の正当な質問に対し「支社でやったこと」と片づけようとしているのだ。

生活給のカットを許さな  
いぞ!

組合員の多くは、低賃金と物価高、それに加え、消費税による圧迫という中で「夏季手当(勿論、年末手当も)」「毎月の赤字の補填に充当されているのが現実の姿である。

それを、理由すら明らかにせず、一方的にカットする暴挙をどうして許せようか。

しかも、ボーナス(昇給も)カットが集中しているのは強制的に営業に配転させられた仲間たちである。

「駅長の指示に従わなかった」「反抗的態度!」云々・・・である。

われわれが、駅長だろ  
うと、管理者だろと理不尽で、スジも正当性もないことを押し付ける当局に対し、説明を求め、抗議し、闘うのは当たり前である。

百歩譲って、そこで「問題」があり、言いたいことがあるならば、当局は説得すればいい。その自信も、やる気もないで、コンコン無いたくを作文し、上申し、賃金カットされていたのでは、たまらないのだ。

われわれは、このよう  
な不当な賃金攻撃に対し、断じて黙ってはいない。組織をあげて全組合員が支社当局の暴挙に抗議していくことを確認しようではないか!

**7/23 奥西新空港反対闘争**  
 闘争本部

**7/24 第一波の公判**  
 清算事業団公判

**7/27 拡大支部代**  
 18名本部

**8/21 清算事業団闘争**  
 仲肉を奪還しよう  
 吉川公園のヨリ向い  
 18名!